

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	学校図書館教育推進事業			事業番号	038-034
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育	部	教育課程

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(2) 子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進	
			有	取組の方向性	②新しい時代に必要となる資質・能力の育成			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.1	
			有	取組	総合的な学力の育成			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—		

2	関連計画	■堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン		
3	事業開始年度	平成 19 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	■教育基本法、学校図書館法、学習指導要領		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■本庁				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	■市内全小中学校	対象数	135	単位	校
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■本に親しむことをとおして、豊かな心と自ら学ぶ態度を育成できるよう、児童生徒の読書習慣を定着させる。また、調べ学習などの学習センター、情報センター機能の充実を図る。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	■学校図書館の充実に資する人材として、拠点校（2校）には学校図書館職員、小・中学校には学校司書を配置し、読書センター機能、学習センター機能及び情報センター機能の充実を図る。また、学校図書館サポーターを活用し、開かれた学校図書館の実現をめざす。 ・司書教諭及び学校図書館担当者、学校司書、学校図書館サポーターに対する研修の実施 ・学校図書館職員・学校司書による小学校巡回訪問の実施				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	会計年度任用職員				
10	公民連携・協働事業	セレッソ大阪との読書推進プロジェクト				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績						目標			点検年度		
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和4年度			令和7年度		
11 「家や図書館で、普段（月～金曜日）1日当たり30分以上読書をしている」と回答した児童生徒数（割合）	人 (%)	目標値	小6 35.0	中3 25.0	小6 35.0	中3 25.0	小6 35.0	中3 25.0	小6 35.0	中3 25.0	小6 35.0	中3 25.0	
		実績値	小6 1,966(26.2)	小6 31.2	中3 21.3								
		達成率	小6 75%	小6 89.1%	中3 85.2%								
当該指標を選定した理由	普段の読書率が事業の達成状況の把握に適切であると判断したため												
目標値の設定根拠・算出方法	令和2年度：堺市「子どもがのびる」学びの診断児童生徒質問紙 令和3年度：全国学力学習状況調査												
12 活動指標(成果を上げるための手段) 学校図書館来館者数（のべ人数）	人	実績		実績		目標							
		令和2年度		令和3年度		令和4年度							
		目標値	120,000	390,000	350,000								
実績値	109,793	341,786											
達成率	91%	88%											
当該指標を選定した理由	全小中学校への週2回司書配置により、令和3年度からは小中学校の年間来館者数としている。目標値の設定については、令和2年度の実績値が382,211人であったことから、390,000人とした。												
目標値の設定根拠・算出方法	令和元年度：中学校前期（4月～10月）来館者数 令和2年度：中学校年間来館者数 令和3年度：小中年間来館者数												

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	学校図書館教育推進事業	事業番号	038-034
-------	-------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13 事業費 (a)	74,974	77,841	101,313	89,910	95,227
財源内訳	国支出金	11,550	5,653	9,772	3,706
	府支出金				0
	市債				0
	その他 ()				0
	受益者負担金(使用料、手数料等)				0
一般財源	63,424	72,188	91,541	86,204	85,019
14 人件費 (b)	3,240	3,280	3,280	3,280	3,280
15 年間経費(c)=(a)+(b)	78,214	81,121	104,593	93,190	98,507

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源
16 事業費内訳	会計年度任用職員報酬	57,978	57,978	読書ノート配送委託料	187	187	
		55,168	55,168		0	0	
	会計年度任用職員通勤費等	3,052	3,052	研修会場等借上料	0	0	
		8,394	8,394		120	120	
	会計年度任用職員期末手当	1,288	1,288				
		610	610				
学校図書館サポーター謝礼金等	27,389	23,683					
	30,925	20,717					
研修会用消耗品費	16	16					
	10	10					

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
① 家や図書館で普段（月～金曜日）1日当たり30分以上読書をしていると回答した児童の人数	人	1,966	2,214
② 上記①にかかる年間経費	千円	81,121	93,190
③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	41,262	42,091
備考（算出についての説明等）	令和2年度：堺市「子どもがのびる」学びの診断児童生徒質問紙 令和3年度：全国学力学習状況調査 小6		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 平成29年度より中学校へ、令和2年度より小学校への学校司書の配置により、児童・生徒が利用しやすい学校図書館へと環境整備が進んだが、各校の実態に応じた新型コロナウイルス感染拡大防止対策の影響もあり、活動指標において目標を達成できていない。読書習慣の定着については、引き続き課題であり、1日当たりの30分以上読書をしている児童は全国平均を6.2ポイント下回っている。SNSや動画視聴の時間が増えていることから、家庭の中で過ごす時間における読書の時間が圧迫されていることが原因の一つと考えられるが、今後読書をすることのよさ等を含めて啓発を行うなど、各学校において学校司書・教員等からの発信を積極的に行う必要がある。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 学校図書館における学習センター、情報センター機能を活用した学習の充実により、豊かな心の育成や総合的な学力の向上に寄与する。SDGsターゲット4-6の「子ども読書活動の推進」の達成に向けた取組となっている。